

平成31年度予算総額

324億2,250万円

新時代幕開け予算

平成31年度当初予算は、新たな時代がスタートする節目として、また、第2次龜山市総合計画前期基本計画第2次実施計画の初年度として、施策・事業の更なる推進を図るとともに、財政の健全化による持続可能な行財政運営の確立を目指して編成しました。

主な事業として、中心的都市拠点の再生を行う龜山駅周辺整備事業では、市街地再開発組合への支援を行うとともに、周辺道路等の整備に着手します。また、2年後に開催される第76回国民体育大会（三重とこわか国体）の会場となる西野公園の整備を行うほか、子どもの成長を支える環境づくりとして、井田川小学校の校舎増築や放課後児童クラブの整備を行います。さらに、健やかな「ヒト」づくりとして、保健と医療が連携した健康施策の推進を図り、国保データベースの活用などデータヘルスを推進します。そのほか、鈴鹿川等源流域の保存・活用に関する取り組みや、高齢者の移動手段として、乗合タクシーの定着に向けた利用促進等の取り組みを推進します。

予 算	一般会計 総額201億5,700万円(前年度比5.4%減)
特 別 会 計	総額 58億7,240万円(前年度比2.1%減)
企 業 会 計	総額 63億9,310万円(前年度比3.8%増)

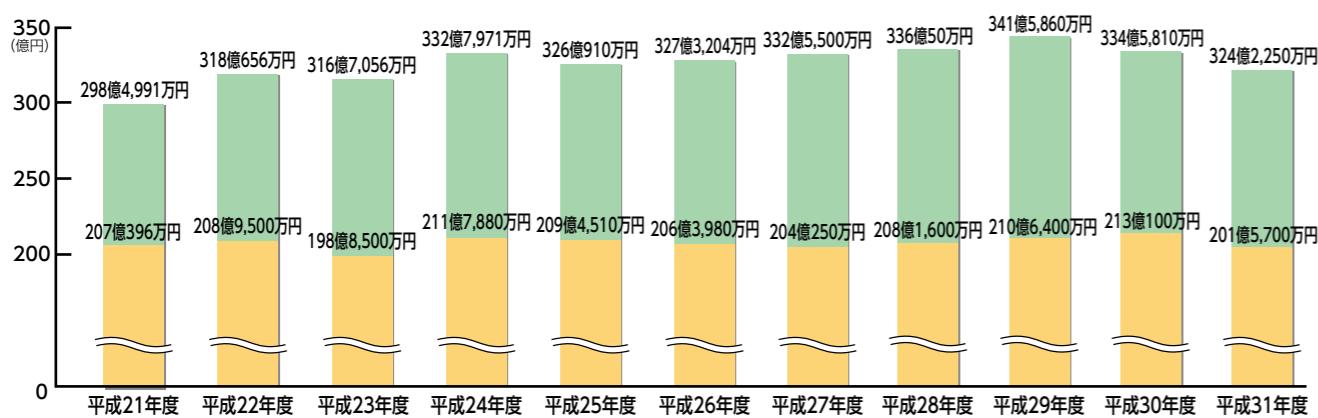
特別会計は、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。

- ①国民健康保険事業
44億2,430万円(前年度比1.8%減)
- ②後期高齢者医療事業
9億5,480万円(前年度比5.4%減)
- ③農業集落排水事業
4億9,330万円(前年度比1.6%増)

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。

- ①水道事業
17億9,820万円(前年度比0.1%減)
- ②工業用水道事業
3億3,850万円(前年度比294.5%増)
- ③公共下水道事業
22億5,000万円(前年度比0.1%増)
- ④病院事業
20億640万円(前年度比0.9%減)

○全体の予算額と一般会計予算額の推移



一般会計を

大解剖

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市役所の基本的な仕事に関する収入と支出を経理する会計です。

総額

201億5,700万円

歳 入

市税 105億4,000万円
市民税や固定資産税など

繰入金 11億6,383万円
貯金（基金）の取り崩しなど

諸収入 3億3,729万円
雑収入など

繰越金 1億円
前年度からの繰越金

その他 6億229万円
保育料や使用料など

* 自主財源
市が自主的に収入できる財源



歳 出

民生費 68億6,496万円
障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護などに

土木費 23億6,763万円
道路、河川、公園などの整備に

衛生費 23億4,012万円
健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理などに

総務費 21億7,761万円
庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計などに

教育費 21億3,463万円
学校教育、生涯学習、図書館、博物館などに

公債費 19億1,239万円
借りたお金（市債）の返済に

消防費 8億4,145万円
消防や火災予防などに

農林水産業費 7億9,167万円
農業、林業の振興などに

商工費 3億5,133万円
商工業の振興などに

議会費 2億3,954万円
議会運営などに

その他 1億3,567万円
基金積立金などに

国庫支出金 22億8,754万円
国からの補助金など

地方交付税 16億4,600万円
財政力に応じて国から交付されるお金

県支出金 12億3,205万円
県からの補助金など

地方消費税交付金 9億1,000万円
消費税のうち、地方分として市に配分されるお金

市債 8億3,520万円
公共事業の財源とするために借りるお金など

その他 5億280万円
地方譲与税など

* 依存財源
国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入

